

鉄と鋼

Journal

Japan



主 要 目 次

材料設計法のシステム化	405
金属系繊維強化複合材料の現状	413
最近の接着技術の進歩	421
樹脂射出成形解析の最近の進歩	427
日本鉄鋼協会センサ技術調査研究小委員会活動報告	435
減圧下における還元性ガス吹付けおよび鉄鉱石粉吹付けによる 低窒素濃度溶鉄の脱窒	441
減圧下における低炭素濃度溶鉄の脱炭速度	449
急冷凝固した工具鋼の鑄片の特性	457
硫黄快削鋼の MnS の晶出速度と析出速度の解析	465
酸洗-冷間圧延工程の完全連続化	473
熱間圧延における高精度板厚・クラウン制御技術の開発	481
ホットプレス法による一方向長繊維強化炭素-炭素 (C/C) 複合材料の作製とその強度	489
ホットプレス法によるクロス織炭素繊維強化炭素 (C/C) 複合材料の作製とその強度に及ぼす含浸樹脂の影響	497
制御圧延後の加速冷却における低炭素鋼のフェライト細粒化機構	505
10Cr 耐熱鋼のクリープ破断強度及び常温靱性に及ぼす Mo と W 量の影響	513
共析鋼のオーステナイト領域における延性と破断挙動	521
高応力比繰返し応力下のき裂進展試験による Alloy 600 の 高温高圧水中の耐 SCC 性評価	527
制御圧延型低炭素鋼の強度・靱性におよぼすボロン、窒素量の 影響	535
Ti-6Al-2Sn-4Zr-6Mo 合金のき裂進展特性におよぼす旧 β 粒内 下部組織の影響	543
樹脂ラミネート制振鋼板の疲労強度	551
SUS 304 製スタッドボルトの応力腐食割れ事例	559
制振鋼を利用した荷重計測	567
第 115 回 (春季) 講演大会プログラム, 通常総会案内	N43

NO. 3
VOL. 74
MAR. 1988

Price:

日本鉄鋼協会

Iron and Steel Institute of Japan

1-1-1, Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome
Chiyodaku, Tokyo, Japan